



NO.

いちょう

発行所

待乳山 本龍院

〒111 東京都台東区浅草7-4-1

-0032 TEL. 03(3874)2030

FAX. 03(3874)5280

聖天様の方便

住職 平田真純

仏教の中の数多くの仏様・神様は、それぞれ特徴やお役割をお持ちになっています。聖天様はというと、待乳山のお経本に掲載されている『待乳山聖天宮略縁起』に「佛ほとけの金言きんげん諸神しよじん諸佛しよぶつの捨たまて給ぐう求願ぐがんも一心てんに信せいずるものは直ただちに成就じゆじゆせしめんはこの天てんの誓願せいがんなり」とはつきりと断言されています。何か気持ちの良いほどすつきりした物言い、参拝される方に力も湧いてくるでしょう。この聖天様と私たちの一体感こそが所願成就の源であり、「方便ほうべん」衆生しゆじゆを導くための巧みな手段」と呼ばれるものです。この方便を生かすには、単に聖天様のお力にあやかるだけで終わってしまつてはいけません。だんだんと人生上の問題に対する深い反省、懺悔の心が生じてくるのが、真剣に祈られた方の自然の成り行きでしょう。

仏教では、「貪瞋痴とんじんちの三毒さんどく」という表現がよく用いられます。「貪とん」とは「貪むさぼり」「瞋いかり」「愚おろかさ」という人間の根本的な三種の煩惱ぼんのうのことです。私たちは、この煩惱のおかげで悩みが尽きないわけです。

ただし、ものごとは一面だけで見ることは不完全

です。いったい「貪り」「瞋り」「愚かさ」だけで生きている人はいるでしょうか。たとえば「貪り」の裏には「向上心」というものが潜んでもいるでしょう。また「瞋り」の裏には、えてして「慈悲心」が隠れているものです。また「愚かさ」の反省から、良い「智慧」が芽生えてきます

聖天さまの壇に必ずお供えする三種の供物、「お団だん」（巾着型の甘いお菓子）、「大根」 「お神酒」はそれぞれ三毒に対応しています。すなわち「お団」は「貪り」、「大根」は「瞋り」、「お神酒」は「愚かさ」のそれぞれの煩惱を表しています。それらをお供えすることによつて、煩惱を通した真実をみさせていただく、ということにもなります。

この理ことわりは、欲の肯定でも否定でもありません。欲にまかせてどんどんお願い事をしろ、というわけでもなく、貪瞋痴の三毒をなくしてしまえということでもありません。そこから深く反省し、諸々の縁の力を認識し、今より良い自身を目指し、広く役立つ人間となろうと考えるべきではないでしょうか。

平成二十七年も、皆様にとつて、さらに良い年であるようにご祈念申し上げます。

正月の行事から

初詣

元日は、午前零時に本堂を開堂いたします。今年最初の浴油祈禱は午前二時から厳修しますので三十分前までにお申し込みください。

おとそ接待

三が日

本堂において信徒総代、世話人より、当山名物の開運お屠蘇と、お子様にはお菓子の接待がございます。お参りがお済みになりましたら、ぜひお召し上がりください。

特別即時祈禱

三が日 午後一、二、三時

本堂内陣にて行者が皆様の新年の開運を祈願致します。 祈禱料 三、〇〇〇円也

毘沙門天様の特別拝観

元日〜十五日

普段本堂の奥におまつりしております浅草名所七福神の毘沙門様を、内陣の左手手前の仮座におまつりします。

一月七日(水) 午前十一時〜午後一時半

大般若講 大根まつり

浅草の正月の風物詩、大般若講大根まつりを執行いたします。まず十一時より本堂で『大



般若経』を次々と転読する豪快な大般若法要を厳修いたします。この法要で皆様の今年一年の家内安全、諸難消除を祈念します。

講金 二、〇〇〇円也

法要が終わると、参道において皆様の身体健全、厄除け祈願のふるふき大根がふるまわれる、大根まつりが始まります。

ふるふき大根を頂くためには九時から本堂でお配りする無料整理券が必要になります。

一月二十日(火) 午前十一時

百味講を執行いたします。

声明と密教の修法をもつて聖天様をご供養する、百味講を執り行います。日

ごろのご加護に感謝して百

味法要に参加されることで、尊天様とより深くご縁が結



べることと思えます。

お申込の方には、ご宝前にお供えしたお供物をお授けいたします。また籠入りの特別なお供物もございます。(限定十個要予約)

講金 一、五〇〇円也(籠供物二千五百円)

朝まいり会継続者に記念品授与(十二月度)

朝まいり会を長い間継続されている方々に、記念品が授与されました。(敬称略)

二年 渡辺美和子

一年 坪井真美

半年 清水淳也 長門美也子

松浦昌孝 山内裕太郎 本岡めぐみ

二月三日(火)

節分会 年男募集いたします。

年男とは、その年の歳神様をまつる家長の仕事とされています。また干支生まれの方や、厄年の人も厄落しを兼ねてご参加ください。寺務所にてお申し込みください。

費用 三万円(付添お一人につき、五千円)

行事報告

十一月九日(日)

写経供養会が行われました。



今年度に写経の会で奉納されたお写経をご宝前にお供えし、会を執行了いたしました。法要後は外陣において左記の方々の表彰が行われました。(敬称略)

- 表彰者
- 四百巻 小出扶左子
 - 三百巻 高橋哲夫
 - 二百五十巻 正野薫
 - 二百巻 片岡靖志 岡田正巳 阿部珠紀
 - 百五十巻 佐山茂昭 大和田幸男 山口耀子
 - 百巻 大塚ミツ 中村悦子 桶田増子
 - 五十巻 横山菊代 吉井潤子 山口幸子
 - 山田恭子 岡林綾子 平野洋子

以上

十一月二十日(木)

御昼講大般若法要を厳修しました。

本堂昼替えのご寄進のための御昼講大般若法要が執り行われました。平田住職の導師により大般若法要が厳修され、講員各々の身体健全、諸願成就を祈願いたしました。

十二月八日(月)

御宮殿のご開扉がありました。

御前立ちの十一面観音様のご開帳がおこなわれました。



浴油祈禱が終わると平田住職によりご宮殿の鍵が開けられ、観音様がお姿を現わされました。

参拝者は間近でお参りができ、より身近に仏様を感じられて感動されたことでしょう。七五三、お宮参り

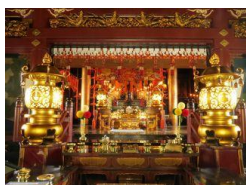
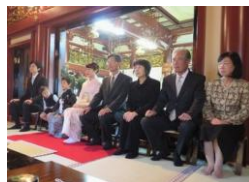
ご宝前で行者よりお加持を授けられました。尊天様のご加護によって、健やかなご成長されることをお祈り申し上げます。

訃報

当山本寺、浅草寺貫主 清水谷孝尚大僧正におかれましては、去る十月二十八日御遷化されました。享年九十四歳。謹んでご冥福をお祈り致します。

法名 慈悲心院大僧正孝尚大和尚

十二月九日午前十一時より本葬の儀が伝法院に於いて厳かに執り行われました。



2月待乳山行事予定表

朝まいり会	2月1日～7日	午前8時から8時半	会費	月 500円也
1週間のうちで都合のよい日に、ご参加くださっても結構です。				
最終日の7日には、読誦終了後に食事作法を行います。				
節分会	2月3日(火)	午後3時	節分札1組	500円也
僧侶が一年分のお経をお唱えする中、年男による豆まきが行われます。				
福餅(福豆付) 1升枡3、000円 1合枡500円				
写経の会	2月8日(日)	午前10時/午後1時	会費	500円也
心を落ち着かせて写経することで、日常を離れ、自分を見つめ直しましょう。				
日曜勤行	2月8日(日)	午前9時	参加費	無 料
初心の方も気軽にご参加いただけるおつとめの会です。				
坐禅の会	2月11日(水)	午後6時開堂 午後8時まで	定員30名	参加費500円也
夜間の本堂にて、坐禅を行います。定員になり次第、募集を締め切らせていただきます。				
浴油講大法要	2月20日(金)	午前11時	講金	1,500円也
毎朝の浴油祈禱に使う胡麻油をお供えします。				
合同大般若法要	2月25日(水)	午前11時	法要料	5,000円也
心願が成就し、より一層の御加護を頂くために、皆様とご一緒にお上げする御札の法要です。				
夜間開堂	2月25日(水)	午後6時～8時まで	参加費	無 料
午後7時より、お勤めと法話がございます				
3月の行事	婦人講	3月20日(金)	午前11時	講金 1,500円也
	稻荷大祭	3月31日(火)	午前11時	講金 1,500円也

ご祈禱のご案内

聖天様独特の供養法である浴油祈禱よくゆは、密教の修法の中でも最も深秘の法とされています。この供養法により聖天様のお力がより一層高められ、私共が不可能と思われるような願い事でも、尊天様の不思議方便のお働きを得て、必ず成就させて頂けるのであります。

当山ではこの浴油祈禱を、毎朝開堂と同時に厳修ごんしゅうしております。寺務所にて受け付けておりますので、お名前とお願いの内容祈禱期間をお伝え下さい。

またご遠方の方やお急ぎの方は、お電話やお手紙でも受け付けております。どうぞお申込みください。

祈禱料

別座祈禱べつざきとう 一万元以上 (二週間)

浴油祈禱よくゆきとう 三千五百円以上 (二週間)

華水供けすいく 五百円/一日 (お札は出ません)